

『地域福祉研究』主な特集テーマなど(創刊号～公No.11(通算No.51))

これまでの「特集テーマ」・「座談会」・「この人に聞く」・「地域福祉の思想シリーズ」・「現場を訪ねる」(1973～2023)

| 号 | 特 集 テーマ | 座談会 | この人に聞く | 地域福祉の思想シリーズ | 現場を訪ねる |
|----|-----------------------|--------------------------|----------------------------------|-------------|--------|
| 1 | 地域福祉の諸問題 S48 | | | | |
| 2 | 現代福祉教育への提言 S49 | | | | |
| 3 | 福祉と宗教 S50 | 社会福祉事業と宗教の関連について | | | |
| 4 | 住民福祉と行政 S51 | | | | |
| 5 | 地域経済と社会福祉 S52 | | | | |
| 6 | 地域福祉の現状と今後の課題 S53 | 地域福祉の現状と方向性を探ぐる | | | |
| 7 | 地域福祉研究の課題 S54 | | | | |
| 8 | 80年代の地域福祉の展望 S55 | | | | |
| 9 | 社会福祉の実践的課題と再編 S56 | | | | |
| 10 | 在宅福祉サービスの分析研究 S57 | | | | |
| 11 | 地域福祉システム化への問題点と提言 S58 | | | | |
| 12 | 地域福祉活動と主体をめぐる諸問題 S59 | | | | |
| 13 | 地域福祉計画の課題と展開 S60 | 実践家による座談会・有償ホームヘルプ制度の行く方 | 先進福祉国家の陥穽－その轍をふまないために－ 錢本 三千年 | | |
| 14 | 地域福祉と地方分権化の課題 S61 | 在宅福祉サービスの供給システムのあり方 | 女性から見た福祉への提言 富士谷 あつ子 | | |
| 15 | 地域福祉の思想と再構 S62 | 福祉のこころ | グローバルな視点をローカルで活動する 長尾 憲彰 | | |
| 16 | 在宅福祉と家族問題 S63 | 在宅福祉のネットワーク | “もったい”は福祉の原点 松平 実胤 | | |
| 17 | 在宅福祉サービスの実践モデル H 1 | ライフスタイルに合った住民参加を | 多く行なう者は少なく語る 賀集 一 | | |
| 18 | 地域福祉と福祉改革 H 2 | “地域福祉”の時代と自治体の役割 | 正義は愛に先行し、愛は正義を全うする 嶋田 啓一郎 | ①トーマス・チャーマズ | |

| 号 | 特 集 テーマ | | 座談会 | この人に聞く | 地域福祉の思想シリーズ | 現場を訪ねる |
|----|-------------------------------|-----|---------------------------|--|-------------------|--------|
| 19 | 地方の時代と福祉マンパワー | H 3 | これからの福祉を支えるマンパワー | 住民の意志を尊重する社協に 重田 信一 | | |
| 20 | ①もう一つの地域福祉 ②“わがまち”の地域福祉の展望 | H 4 | “わがまち”の地域福祉を語る | 見る、見られる関係から科学する 岡村 重夫 | ②エド・ロバーツ | |
| 21 | 地域住民が期待する在宅福祉－ユーザーからの提言－ | H 5 | 地域住民が期待する在宅福祉 | 体験的医療福祉論 江草 安彦 | ③賀川 豊彦 | |
| 22 | 住民参加の新しい方向を問う | H 6 | 住民参加の新しい方向を問う | 私と戦後福祉行政 仲村 優一 | ④渡辺 海旭 | |
| 23 | 女性と地域福祉 | H 7 | 女性が拓く地域福祉 | 明日をみつめて 隅谷 三喜男 | ⑤ヴォルフエンス ベルガー | |
| 24 | 地域福祉と非営利組織（NPO） | H 8 | 震災が問う地域福祉 | 地域福祉への途一筋に 永田 幹夫 | ⑥留岡 幸助 | |
| 25 | 介護保険導入と地域福祉 | H 9 | | たどり行く道 早川 一光 | | |
| 26 | 人間関係の再生と地域福祉 | H10 | 人間関係の再生を求めて | 地域福祉を築く 阿部 志郎 | ⑦石井 十次 | |
| 27 | 地域ケアにおける権利擁護システム | H11 | 地域福祉と権利擁護 | これからの地域福祉 三浦 文夫 | ⑧小河 滋次郎 | |
| 28 | 地域福祉の新時代と社会福祉協議会 | H12 | 地域福祉の新時代と社会福祉協議会 | 私と社会福祉学研究 岡田 藤太郎 | ⑨ジェーン・アダ ムス | |
| 29 | 21世紀 地域福祉の課題と展望 | H13 | 21世紀地域福祉の課題と展望 | 元社協マンの愛と情熱 渡部 剛士 | ⑩関 一 | |
| 30 | 進化するボランティア－地域福祉における新しい位置－ | H14 | 明日へつなぐ地域福祉研究30年の軌跡 | 岡村先生を偲ぶ会 上野谷加代子、大橋謙策、白澤政和、 高田真治、牧里毎治 | | |
| 31 | 新しい時代の地域福祉計画 | H15 | 新しい時代の地域福祉計画 | 自治型地域福祉への途と展望 右田 紀久恵 | ⑪糸賀 一雄 | |
| 32 | 地域福祉型居住施設の方向と課題 | H16 | 地域福祉型居住施設の方向と課題 | ボランティアは休みなき人間尊重の運動 岡本 栄一 | ⑫バンクーミケル セン | |
| 33 | コミュニティワーカーの可能性 | H17 | 地域福祉は分権型社会の創造に貢献できるのか | 地域福祉の実践的研究を貫く 高森 敬久 | ⑬オクタヴィア・ヒル | |
| 34 | 地域福祉への学際的アプローチ | H18 | 地域福祉への学際的アプローチ | 保健医療福祉統合化への実証的研究 大國 美智子 | ⑭ウィリアム・バ ヴァリッジ | |
| 35 | これからの自治体経営と地域福祉 | H19 | これからの自治体経営と地域福祉 | 底辺に向かう志－今、社会福祉研究者に必要なもの 小倉 襄二 | ⑮バーネット夫妻 | |
| 36 | 地域福祉の視点から見るローカル・ガバナンス | H20 | 地域包括ケアの現状と課題 | ヒューマンな研究者・教育者であり続けること 井岡 勉 | ⑯M. G. ロス | |
| 37 | コミュニティ福祉の創造と地域自治 | H21 | 市民主体の地域福祉政策 | 地域福祉における実践的研究力を研ぎ続けて－日英の実践研究を通じて－ 田端 光美 | ⑰パウロ・フレイ レ | |
| 38 | 地産地消の地域福祉 様々な課題を克服する「ローカルな知」 | H22 | 地域福祉を开花させる実践－都市というローカルから－ | 地域福祉実践と開拓・創造し続けて60年 今井 鎮雄 | ⑱林 市藏 | |
| 39 | 生活圏域における地域福祉の再構築～自治とケアをつなぐ～ | H23 | 自治とケア 社協は自治を担えるか | 地域社会の底にひそむ偏見・差別と戦う福祉実践の科学化 忍 博次 | ⑲ジャック・ロス マン | |

| 号 | 特集テーマ | 座談会 | この人に聞く | 地域福祉の思想シリーズ | 現場を訪ねる |
|-------------|--|--|---|-------------|--------|
| 40 | もうひとつの「開発」と地域福祉 ～東日本大震災が問うもの～ | H24 ○東日本大震災-現場からの報告- ○[記念座談会]地域福祉研究 過去・現在・未来 | 水俣病問題と向き合いつづけて 原田 正純 | ⑩ウェット夫妻 | |
| 公1 (41) | 生きる「場」と関係の創出 ～社会的包摂を可能とする 地域福祉～ | H25 生きる「場」と関係の創出 ～保健医療からのアプローチ～ | 福祉と環境をクロスオーバーさせて 炭谷 茂 | | 出雲市 |
| 公2 (42) | エンパワメントアプローチとしての地域包括ケア ～主体形成と協働の視点から～ | H26 「主体形成と協働」の地域 実践から学ぶ | 「コミュニティソーシャルワークと地域福祉の主体形成」 実現に賭けた40年間～これからは現場をかける～ 大橋 謙策 | | 東近江市 |
| 公3 (43) | 家族の変化と地域福祉 ～『互助』は単身化に対応 できるのか～ | H27 生活困窮者自立支援の地域 福祉をめぐる | 住民参加・住民主体を実現する組織としての社会福祉 協議会-兵庫県社協とともに全国へ発信してきたこと 野上 文夫 | | 尾道市 |
| 公4 (44) | 医療と福祉が進める地域 づくり | H28 総合事業と生活支援サービス | 住民参加の「地域福祉」への道～ 社会福祉協議会の沿革とともに～ 和田 敏明 | | 名張市 |
| 公5 (45) | 地域福祉・地域医療は子ども に何ができるか | H29 地域に根ざした子育て・子 育ちを展望する | 命に頭をたれる 潮谷 義子 | | 宝塚市 |
| 公6 (46) | 地域共生社会の実現に向け ての医療の可能性を探る | H30 『我が事・丸ごと』の可能 性を探る | 共生型は面白い 惣万 佳代子 | ⑪上田 官治 | 茨木市 |
| 公7 (47) | 「孤立と排除」に立ち向かう 社会貢献活動 | H31 民生委員・児童委員を考える ～方面委員制度100周年～ | 足元を掘れば大海に至る 播磨 靖夫 | | 明石市 |
| 公8 (48) | 多文化共生時代の地域福祉 | R 2 多文化共生時代の地域福祉 | 山崎美貴子の魂（こころ）～ソーシャルワーク 専門職として、教育者、研究者、政策の創り手、 そして共感と憐みあふれる市民として～ 山崎 美貴子 | | 熊本市 |
| 公9 (49) | 地域共生社会における参 加支援の可能性を探る | R 3 新型コロナウイルス感染症に保健・ 福祉・医療はどう対応したか ～大阪での事例～ | 雇用と社会保障からみた女性の就労と家族 の変容-介護保険制度20年が意味するもの 樋口 恵子 | | 佐賀市 |
| 公10 (50) | コロナ禍における地域福祉 ～地域共生社会を問う | R 4 [誌上シンポジウム] パンデミック下の地域福祉実践の姿 ～つながりを求めて、工夫を形に | | | |
| 公11 (51) | 地域福祉におけるサード セクターの役割と可能性 | R 5 希望を重ねる ～重層的支援体制整備事業 と多様な主体との協働 | セーフティネットを編みなおす ～『生活保護解体論』が意味するもの 岩田 正美 | | 久留米市 |